



かみさまと、ちかくのひとを あいしましょう。

あなたのかみであるしゅをあいしなさい。またりんじんを
じぶんのようにあいしなさい。 (ルカ、10・27)



あるりっぼうがくしゃがイエスさまにききました。「いちばん
たいせつなおしえはなんですか？」かれはこうこたえます。
「あるひとが、たびのどちゅうでとうぞくにおそわれ、すべて
をうばわれ、みちのうえでしんだようになってしまいました。」



さいしさま、しんでんのレビびとがとおり、そのひとを
みましたが、たすけませんでした。サマリアじんはたち
どまってきずのであてをして、やどやまでつれていき、
おかねをはらってせわをたのみました。」



「いちばんたいせつなことをしたのはだれですか？」イエスさま
がきいています。「さんになめのひとです。きずつめたひとのお
せわをしたひとです。」「そうです」イエスさまはいいました。
「あなたもあなたのりんじんにおなじようにしなさい。」



あるひ、いえにかえるとちゅう、たくさんにひと
たちがやさいや、くだものをうっているいちばを
とりました。ひとりのおばさんにあいさつして
いるとき、わたしのめのまえにいっこのトマト
が、またひとつのトマトがおちています。



まえをみると、ひとりのおじさんがおおきなかごをもってたいへん
そうにあるいていました。おもそうでした。だれもトマトが落ちて
いるのにきがかず、だれかがつぶしてしまうでしょう。



おじさんはとてもつかれていて、しんばいしていました。
だからわたしはとまっておちたものをぜんぶひろいまし
た。かれはおおきなほほえみでにっこりし、わたしもにっ
こりしました。たすけてあげたことととてもうれしかったです。